

令和5年度 大阪市立総合医療センター 緩和ケア地域連携カンファレンス がん治療を終えるとき

がん治療の進歩により治療の種類や数は増え、終末期に至る直前まで治療を継続することは珍しくありません。がん治療は主に外来で行われるため、入院が必要な時は状態が悪化しており、在宅ケア移行時にはさらに厳しい状態で、迅速かつ密なケアが必要なことが多くなっています。この現状を踏まえて、今回のカンファレンスでは一つの事例をもとに、治療に携わる医師や病棟看護師、在宅ケアチーム、双方の立場から思いや課題を語り合い、持続可能なケアのために理解を深めていきたいと考えています。

日時

令和5年7月15日(土) 14:00~16:00

場所

大阪市立総合医療センター さくらホール

対象

がん患者さんに関わる仕事をされている方
(医療・介護・医療福祉・医療福祉機器メーカー関係者等)

参加費

無料

内容

- ・がん治療と緩和ケアの統合とは
ーがん治療を終えるときに焦点をあててー
大阪市立総合医療センター緩和医療科 多田羅 竜平
- ・進行がん治療の現状とがん治療を終えるとき
患者・家族とどう話すか ~事例を含めて~
大阪市立総合医療センター腫瘍内科 田中 彩子
- ・がん治療を終える患者の意思決定支援の実際
大阪市立総合医療センターすみれ17階病棟看護師 佐々木 那奈 / 植田 ゆめ
- ・グループディスカッション / 全体共有

申込

登録用URLまたはQRコードより、事前登録をお願いします。

登録用URL：<https://forms.gle/c48BtkerPRVfn48k6>

申込締切：7月10日（月）



登録用QRコード

事務局 〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-2

大阪市立総合医療センター がん医療支援センター 鈴木・渡邊

電話：06-6929-1221